

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年9月4日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊勢原市役所	代表者名	宮嶋 俊道
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0463-94-4550
担当者役職		担当者氏名	
住所	259-1118 神奈川県伊勢原市田中348番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大高 利夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	各所属(特に関係事務所管課)は、マイナンバー制度に対する理解も乏しく、あまり関係の無いものと認識している状況でしたが、今研修では管理職の職員も多く参加している中で、管理者の責務(研修を受講させる義務等)や安全管理措置等、限られた時間の中でしたが、幅広くお話いただきました。各所属長が自分事と捉え、中心となり制度理解、に取り組んでいく契機になればと感じております。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月27日	9時30分	16時00分	150	240
3-2. 派遣場所	会場名	伊勢原市図書館 AVホール		最寄駅	小田急小田原線伊勢原駅
	所在地	神奈川県伊勢原市田中348番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(正規・臨時)	180人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実績に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	昨年度は個人番号利用事務担当者約70名に、マイナンバー制度の集合研修を実施していただきましたが、管理職級の職員や、個人番号関係事務担当者等へは、J-LIS主催のeラーニング研修のみで、制度理解を深めるような教育が実施できていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員の啓発として、受講した特定個人情報取扱担当者及びその所属長が、マイナンバー制度の概要や目的を理解し、住民等に説明できる。また、特定個人情報を取り扱うリスク及び脅威を理解し、その対策を取れる状態。受講した職員がOJTを実施し、他の職員についても同レベルの理解が得られている状態。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	マイナンバー制度の概要から、利活用、安全管理措置、及び情報セキュリティに関する基本的な内容についての講演。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	多くの受講者において、マイナンバー制度及び情報セキュリティに関する知識・理解が深まり、意識付けも一定以上行うことができた。特に、個人番号関係事務担当者へはマイナンバー制度の概要や、目的については、集合研修として実施できていなかったため、制度理解のための良い契機となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	マイナンバー制度がどういった目的達成のために必要なのか、市職員の安全管理として日常業務の中でどういったことを意識する必要があるのか、管理職の責務として何を行わなければならないのかといったことを受講者が認識することができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	受講できていない担当者に対するフォローアップ(特に入れ替えのある臨時職員等)をどのように行っていくかが検討課題となる。一つはeラーニングの受講を実施する予定ではあるが、今回の研修を受講した者が、所属内において、伝達研修やOJTを実施することで、教える側と教える側の両者共により理解が深まる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙資料参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員が講師となり、継続的に集合研修を実施し、未受講者に対しても、受講者と同等の理解が得られるようOJTやフォローアップが行われる。更に、各階層似合わせた内容での教育研修を実施し、職員全員が高い知識を有し、実践の中で活用できている。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年9月4日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊勢原市役所	代表者名	宮嶋 俊道
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0463-94-4550
担当者役職	主事	担当者氏名	大場 康司
		連絡先E-mail	
住所	259-1118 神奈川県伊勢原市田中348番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大高 利夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	各所属(特に関係事務所管課)は、マイナンバー制度に対する理解も乏しく、あまり関係の無いものと認識している状況でしたが、今研修では管理職の職員も多く参加している中で、管理者の責務(研修を受講させる義務等)や安全管理措置等、限られた時間の中でしたが、幅広くお話しいただきました。各所属長が自分事と捉え、中心となり制度理解、に取り組んでいく契機になればと感じております。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月28日	9時30分	11時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	伊勢原市図書館 AVホール		最寄駅	小田急小田原線伊勢原駅
	所在地	神奈川県伊勢原市田中348番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(正規・臨時)	91人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	昨年度は個人番号利用事務担当者約70名に、マイナンバー制度の集合研修を実施していただきましたが、管理職級の職員や、個人番号関係事務担当者等は、J-LIS主催のeラーニング研修のみで、制度理解を深めるような教育が実施できていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員の啓発として、受講した特定個人情報取扱担当者及びその所属長が、マイナンバー制度の概要や目的を理解し、住民等に説明できる。また、特定個人情報を取り扱うリスク及び脅威を理解し、その対策を取れる状態。受講した職員がOJTを実施し、他の職員についても同レベルの理解が得られている状態。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	マイナンバー制度の概要から、利活用、安全管理措置、及び情報セキュリティに関する基本的な内容についての講演。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	多くの受講者において、マイナンバー制度及び情報セキュリティに関する知識・理解が深まり、意識付けも一定以上行うことができた。特に、個人番号関係事務担当者へはマイナンバー制度の概要や、目的については、集合研修として実施できていなかったため、制度理解のための良い契機となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	マイナンバー制度がどういった目的達成のために必要なのか、市職員の安全管理として日常業務の中でどういったことを意識する必要があるのか、管理職の責務として何を行わなければならないのかといったことを受講者が認識することができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	受講できていない担当者に対するフォローアップ(特に入れ替えのある臨時職員等)をどのように行っていくかが検討課題となる。一つはeラーニングの受講を実施する予定ではあるが、今回の研修を受講した者が、所属内において、伝達研修やOJTを実施することで、教える側と教える側の両者共により理解が深まる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙資料参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員が講師となり、継続的に集合研修を実施しでき、未受講者に対しても、受講者と同等の理解が得られるようOJTやフォローアップが行われる。更に、各階層似合わせた内容での教育研修を実施し、職員全員が高い知識を有し、実践の中で活用できている。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

